

学校だより



HP QR コード

～ 希 望 高 く 輝 け ～

令和7年2月5日発行

富山市立大沢野中学校

〒939-2253 富山市八木山 550



本当の自信

教頭 日吉 竜滋

早いもので新年になってもう1か月が経ち、3年生はあと40日余りで中学校生活を修了します。もうすでに進路が決定したお子さんもいますが、多くのお子さんは1か月後の県立一般入試に向けて努力しています。「高校の決定＝進路の決定」ではありません。それをゴールにせず、「高校で何を頑張りたいのか」「高校卒業後の進路はどうするのか」ということを考えながら、3年生全体で最後まで気を抜かず頑張りを続けてほしいと思います。

そんなこの時期、特に3年生が強く感じるのは、勝負の日が近づいてくるのに、「自分に自信がもてない」ことからくる不安ではないでしょうか？

自分を奮い立たせるのは何なのか。「自信がつく」とか「自信をもつ」とかよく言われますが、自信というのは「自分を信じること」です。辞書で調べてみても、“自分で自分の能力や価値などを信じること”と書いてあり、自分以外の他人、他人は一切無関係となっています。しかし、ほとんどの人は、自信がつく要因として、他人の人よりも優れているかどうか？という点が自信につながると考えています。例えば、理科のテストは他人の人より点数がいいから、僕は理科には自信がある。私は、他のチームメイトよりシュートの成功率が高いから、バスケットには自信があるとか、周りの人に比べて、自分は〇〇〇の点で優れているから、それには自信があるというような自信の持ち方をしている人が多いです。しかし残念なことに、誰かと比較することで築いた自信は、さらに上の人が出てくることによって、一瞬で崩れ去ってしまいます。

青山学院大学陸上競技部を日本一に導き、駅伝で連覇を成し遂げた原晋監督は、成功の秘訣を次のように語っています。「昨日の自分を超越続けることが、本当の自信になり、それが成長になる」

この言葉は、他人と自分を比べるのではなく、「昨日の自分」と向き合い、日々の努力を積み重ねることが、本当の自信になり、未来を切り開く鍵であると教えてくれます。自分がやる！と決めて、それを続けること、つまり、自分との約束を守り続けることが、本当の自信を身に付ける方法です。連覇が懸かった箱根駅伝という大舞台であっても、自分自身との約束を守り、やるべき事を続けてきたことが自信となり結果として表れてきたのだと、原監督の言葉は伝えているのだと思います。

ここが勝負という場面で力が発揮できるよう、残された時間、1日1日を大切にして、自分自身との約束をしっかり実行して自信につなげてほしいと思います。

なお保護者の皆さまには、お子さんが「昨日の自分を超越する挑戦」を続け、お子さん自身で自信をもつことができるよう、「お子さんの小さな努力を認める」「他人と比べない習慣をつくる」ということを意識して、温かく見守り励ましてあげてください。そして、お子さんと一緒に、昨日の自分を越えて成長していく時間を大切にしていきたいと思います。



校内書初め大会 1月8日(水)

始業式の後、冬休み中の練習の成果を発揮しました。受賞者から選抜された12名が2月11日(火)富山市総合体育館で行われる富山県小中高生書初大会に出場します。





富山県中学校スキー選手権大会 1月14日(火)～16日(木)

本校から4人の選手がクロスカントリースキー競技に出場し、3年柳瀬秋成さんがフリーで優勝、クラシカルで3位、リレーは柳瀬秋成さん・柳瀬冬芽さん・水本晴貴さんが出場して3位入賞しました。柳瀬秋成さんが2月5日(水)から行われる全中大会に出場します。



学校評価アンケートから

7月と12月に「学校評価アンケート」を全校生徒と保護者の方に実施しました。各項目について4段階から選んだものです。(4「あてはまる」3「ややあてはまる」2「あまりあてはまらない」1「あてはまらない」の4つ)

このうち、肯定的な評価(4と3)の割合をパーセンテージで表にしました。7月と比べて向上の見られたものもありますが、保護者と生徒の評価の差が大きいものを取り上げてみました。

項目2「授業内容を理解している」については、生徒はどの学年も80%を越えていますが、保護者は下の学年ほど低調で、特に1年生では1学期と比べて8ポイント減少しています。このことから、生徒は「分かったつもり」になっていると考えている保護者の方が多いのではないかと考えられます。

項目3「家庭学習に積極的に取り組む」に関して、1,2年の生徒は7月とほぼ同じでしたが、3年生の生徒は5ポイント向上しました。2年生の保護者の評価は、7月と比べて7ポイント向上していますが、1・2年保護者の評価は半分程度にとどまっています。この表には記載されていませんが、教職員に行った同じ調査では、40%しか肯定的に捉えていませんでした。このことから、保護者と教員は、家庭学習にもっと励んでほしいという思いが表れているのではないかと考えます。(他の項目はHPをご覧ください。)

質問項目	※ 数字は「4あてはまる」と「3ややあてはまる」という回答の合計%です	1年		2年		3年	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月
2 毎日の授業の内容を理解している。 お父さんは、毎日の授業の内容を理解しているようだ。	生 徒	88	88	82	81	88	89
	保護者	68	56	61	61	72	76
3 家庭学習に積極的に取り組んでいる。 お父さんは、家庭学習に積極的に取り組んでいる。	生 徒	76	75	65	68	77	82
	保護者	52	52	44	51	71	81

【学力向上に向けて今後の方針】

○学習時間の確保については、家庭学習時間調査を徹底することから指導につなげます。また、学習実践部や各学年において、学習に関する企画を行い、意識を高めていきます。

○1月下旬に教師が互いの授業を参観して研修会を行い、よりよい授業になるように努めています。また、各授業での振り返りや、単元別的小テスト、テスト期間の放課後学習等の充実を図ります。

※ご家庭でも、家庭学習の様子をご確認いただきますようよろしくお願いします。

<今後の主な行事予定>

○2月の予定		23日(日) 天皇誕生日
4日(火)～7(金)全中スキー		24日(月) 振替休日
6日(木) 私立高校一般入試		26日(水) 生徒議会・実践部会
7日(金) 新入生説明会		
10日(月) 県立高校推薦入試		○3月の予定
11日(火) 建国記念の日		6(木)・7(金) 県立一般入試
13日(木) 学校保健委員会		1, 2年確認テスト
13日(木)・14日(金) 3年進路懇談会		12日(水) 卒業証書授与式予行
17日(月) 民生児童委員との懇談会		13日(木) 同窓会入会式・卒業証書授与式
19日(水)～21日(金) 学年末考査		20日(木) 春分の日
※ 21日は1, 2年のみ		24日(月) 修了式
21日(金) 学校運営協議会		